日本語 DEC Notes
インストレーション・ガイド

AA–QWSNA–TE

1996 年 5 月

本書は，日本語 OpenVMS オペレーティング・システムに日本語 DEC Notes をインストールする方法を記述しています。また，日本語 DEC Notes をインストールする前あるいは後にオンライン・リリース・ノートを読む方法も説明しています。

オペレーティング・システム	：日本語 OpenVMS VAX Version 6.0 以降 ：日本語 OpenVMS Alpha Version 6.1 以降
ソフトウェア・バージョン	：日本語 DEC Notes Version 2.5

日本ディジタル イクイップメント株式会社

1996 年 5 月

本書の著作権は日本ディジタル イクイップメント株式会社 (日本 DEC) が保有しており，本書中の解説および図，表は日本 DEC の文書による許可なしに，その全体または一部を，いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また，本書に記載されている事項は，予告なく変更されることがありますので，あらかじめご承知おきください。万一，本書の記述に誤りがあった場合でも，日本 DEC は一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は，所定のライセンス契約が締結された場合に限り，その使用あるいは複製が許可されます。

日本 DEC は，日本 DEC または日本 DEC の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合，その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

© Digital Equipment Corporation Japan 1996.

All Rights Reserved.
Printed in Singapore.

以下は米国 Digital Equipment Corporation の商標です：
ALL–IN–1, Alpha AXP, AXP, Bookreader, DECnet, DEC Notes, DECwindows, Digital, OpenVMS, PATHWORKS, PrintServer, TeamLinks, VAX, VAX Notes, VAXcluster, VAXserver, VAXstation, VMS, WPS–PLUS, XUI, および DIGITAL ロゴ。

以下は他社の商標です：
Motif および OSF/Motif は Open Software Foundation 社の商標です。
PostScript は米国 Adobe Systems 社の商標です。
UNIX は X/Open カンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本書は，日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

目次

まえがき v

1 インストールの準備

1.1 ディストリビューション・キットの確認 1–1
1.2 オンライン・リリース・ノートへのアクセス 1–1
1.3 VAX インストレーション・プロシージャの必要条件 1–2
1.4 Alpha インストレーション・プロシージャの必要条件 1–4
1.5 ユーザ・アカウント・クォータと特権 1–6
1.6 VMS License Management Facility 1–7
1.7 VMSINSTAL の使用 1–9

2 日本語 DEC Notes のインストール

2.1 インストレーション・プロシージャの実行 2–1

3 インストール後の手順

3.1 システム・スタートアップ・ファイルの変更 3–1
3.2 ネットワーク・トランスポート情報 3–1
3.2.1 DECnet 情報 3–2
3.2.2 TCP/IP 情報 3–2
3.3 VAXcluster での日本語 DEC Notes のインストール 3–3
3.4 インストール後の日本語 DEC Notes の起動 3–4
3.5 日本語 DEC Notes サーバの制御 3–5
3.6 Installation Verification Procedure の単独実行 3–6
3.7 エラー条件 3–7
3.8 保守用アップデート版 3–8

3.9 問題の判断と報告 3–9

A インストレーションの例

B 日本語 DEC Notes ライセンス情報

B.1 NOTES-CLIENT-USER ライセンス B–1

B.2 NOTES-SERVER-LANLINK ライセンス B–1

B.2.1 予約リストへのユーザの追加 B–1

索引

まえがき

本書では，日本語 OpenVMS オペレーティング・システムに日本語 DEC Notes をインストールし，保守する方法について説明します。実際にインストールを開始する前に，本書全体をよく読んでください。

本書の対象読者

本書はシステム管理者をはじめ，システム・ソフトウェアのインストールを担当する人を対象にしています。日本語 DEC Notes ソフトウェアをインストールするには， SYSTEM アカウントなどの特権付きアカウントにアクセスできなければならず， OpenVMS インストール・プロシージャ， VMSINSTAL.COM を十分理解していなければなりません。

本書はディストリビューション・キットともに保管してください。保守更新をインストールする場合や，他の理由で日本語 DEC Notes を再インストールする場合には，本書が必要になります。

参考文献

OpenVMS システムで日本語 DEC Notes をインストールする処理の詳細については，各プロセッサのインストレーション/操作ガイドを参照してください。

VMSINSTAL コマンド・プロシージャについての詳細は，次のいずれかのマニュアルを参照してください。

- OpenVMS ベース・ドキュメンテーション・セットの『OpenVMS システム管理者マニュアル』

- OpenVMS ベース・ドキュメンテーション・セットの『OpenVMS License Management Utility Manual』
- OpenVMS ベース・ドキュメンテーション・セットの『OpenVMS Authorize Utility Manual』
- OpenVMS ベース・ドキュメンテーション・セットの『OpenVMS System Messages and Recovery Procedures Reference Volume』
- OpenVMS システム管理キットの『Guide to Setting Up a VMS System』

表記法

本書は次の表記法を使用して書かれています。

Return	プロシージャの説明で四角で囲んだキー名は，キーボードでそのキーを押すことを示す。
Ctrl/x	Ctrl/xなどのシーケンスは， Ctrl キーを押しながら，別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示す。
( )	形式の説明で使用している括弧は，複数のオプションを選択するときに，全体を括弧で囲まなければならないことを示す。
[ ]	形式の説明で使用している大括弧は，囲んだ要素が省略可能であることを示す。要素をまったく選択しないことも， 1 つまたは全部を選択することも可能である。
bold	オンライン・バージョンで使用している太字は，使用例中のユーザ入力部分を示す。
italic text	斜体は，システム・メッセージで変化する可能性がある情報を示す (たとえば， Internal error *number*)。
UPPERCASE TEXT	大文字の英字は，コマンドを入力しなければならないことを示す。また，ルーチン名，ファイル名，ファイル保護コードの名前，システム特権の省略形を示すこともある。
ブックリーダ	ブックリーダ・ソフトウェアを示す。
OpenVMS, VMS	OpenVMS オペレーティング・システムを示す。

1

インストールの準備

この章では，日本語 DEC Notes のインストールを開始する前に終了しておかなければならない作業について説明します。

1.1 ディストリビューション・キットの確認

Bill of Materials (BOM) と Bills Report (BIL) には，メディアの数と内容が指定されています。キットの内容をこの情報と突き合わせてください。キットが破損している場合や，不足するものがある場合には，日本 DEC の担当者にご連絡ください。

ディストリビューション・メディアは，示されている番号の順にマウントしなければなりません。インストレーション・プロシージャでは，ボリュームのマウントを要求するプロンプトが表示されます。ディストリビューション・メディアのマウントの方法については，各プロセッサのインストレーション/操作ガイドを参照してください。そのマニュアルでは，インストレーション・プロシージャに対するオプションについても詳しく説明されています。

1.2 オンライン・リリース・ノートへのアクセス

日本語 DEC Notes では，オンライン・リリース・ノートが提供されます。OPTIONS N パラメータを指定して VMSINSTAL を起動すると，インストレーション・プロシージャの手順 4 で，インストール中にリリース・ノートを表示または印刷するように促すプロンプトが表示されます。

インストールが終了した後でリリース・ノートを入手するには，ファイル SYS$HELP:NOTESJA025.RELEASE_NOTES を印刷するか，または次のように入力します。オンライン・ヘルプでも，リリース・ノート・ファイルが示されます。インストールの後で次のコマンドを入力してください。

```
$ HELP NOTES RELEASE_NOTES
```

1.3 VAXインストレーション・プロシージャの必要条件

VAX のインストールには，メディアの種類とシステム構成に応じて約 15 分かかります。日本語 DEC Notes のインストールを開始する前に，次の特権とリソースを準備しておいてください。

- SETPRV 特権，または CMKRNL， WORLD， OPER，および SYSPRV 特権。
- インストール時に 6400 ブロック以上の空きディスク容量，インストール後に 5600 ブロックが使用される。
- SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE のサイズに 2360 ページの空きグローバル・ページを加算したものが必要である。
- インストール時に全部で 6 セクションの空きグローバル・セクションが必要である。
- OpenVMS VAX バージョン 6.0 以降。

注意

インストールのためにシステムに必要なグローバル・ページおよびグローバル・セクション SYSGEN クォータがあるかどうかを確認しなければなりません。このことを確認しなかった場合には， DCL テーブルが壊れる可能性があります。

システムで使用できるグローバル・ページ数を判断するには， VMS Install ユーティリティを使用します。次のコマンドを入力してください。

```
$ INSTALL :== $INSTALL/COMMAND_MODE
$ INSTALL
INSTALL> LIST/GLOBAL/SUMMARY

        Summary of Local Memory Global Sections

?? Global Sections Used,  ???/??? Global Pages Used/Unused

INSTALL> EXIT
```

これらのコマンドを入力すると，使用済みのグローバル・セクション数，使用済みのグローバル・ページ数，未使用のグローバル・ページ数が表示されます。 VMS Install ユーティリティを終了するには， EXIT コマンドを使用します。

日本語 DEC Notes では，約 2360 のグローバル・ページが必要です。使用できるページ数が 2360 ページ未満の場合には， VMS Install ユーティリティを使用して，既存の既知のイメージを削除することができます。また，VMS System Generation ユーティリティ (SYSGEN) を使用し，ファイル SYS$SYSTEM:MODPARAMS.DAT を変更した後， AUTOGEN コマンド・プロシージャ SYS$UPDATE:AUTOGEN.COM を起動することにより， GBLPAGES システム・パラメータを増加することもできます。たとえば，次のような行を MODPARAMS.DAT に指定できます。

```
ADD_GBLPAGES=4000
```

AUTOGEN コマンド・プロシージャの詳細については，
VMS System Management サブキットを参照してください。

使用可能なグローバル・セクションの数は，次に示すように， SYSGEN を起動することにより判断できます。

```
$ RUN SYS$SYSTEM:SYSGEN
SYSGEN> USE CURRENT
SYSGEN> SHOW GBLSECTIONS
   .
   .
   .
SYSGEN> EXIT
```

最後に表示される値は，グローバル・セクションの最大数です。この値を，VMS Install ユーティリティで表示された使用中のグローバル・セクション数と比較してください。日本語 DEC Notes では，最大 6 つのグローバル・セクションが必要です。したがって，使用済みのグローバル・セクション数に 6 を加算した値が最大グローバル・セクション数をこえる場合には，日本語 DEC Notes をインストールする前に，使用可能なグローバル・セクションの数を増加しなければなりません。この値を増加するには，SYSGEN を使用し，ファイル SYS$SYSTEM:MODPARAMS.DAT を変更した後，SYS$UPDATE:AUTOGEN.COM プロシージャを起動することにより，GBLSECTIONS システム・パラメータを増大しなければなりません。AUTOGEN コマンド・プロシージャの詳細については，VMS System Management サブキットを参照してください。

使用済みグローバル・セクションの数に 6 を加算した値が最大グローバル・セクション数より少ない場合には，SYSGEN を終了し，インストールを続行できます。

1.4 Alpha インストレーション・プロシージャの必要条件

Alpha のインストールには，メディアの種類とシステム構成に応じて約 15 分かかります。日本語 DEC Notes をインストールする前に，次の特権とリソースを準備しておく必要があります。

- SETPRV 特権，または CMKRNL，WORLD，OPER，および SYSPRV 特権。
- インストール時に 11000 ブロック以上の空きディスク容量，インストール後に 6900 ブロックが使用される。
- SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE のサイズに 3750 ページの空きグローバル・ページを加算したものが必要である。
- インストール時に全部で 10 個の空きグローバル・セクションが必要である。
- OpenVMS Alpha バージョン 6.1 以降。

注意

インストールのために必要なグローバル・ページとグローバル・セクションの SYSGEN クォータがシステムにあるかどうか確認しなければなりません。このことを確認しないと，DCL テーブルが壊れることがあります。

システムで使用可能なグローバル・ページ数を判断するには，VMS Install ユーティリティを使用します。次のコマンドを入力してください。

```
$ INSTALL :== $INSTALL/COMMAND_MODE
$ INSTALL
INSTALL> LIST/GLOBAL/SUMMARY

        Summary of Local Memory Global Sections

?? Global Sections Used,  ???/??? Global Pages Used/Unused

INSTALL> EXIT
```

これらのコマンドを入力すると，使用済みグローバル・セクション数，使用済みグローバル・ページ数，未使用のグローバル・ページ数が表示されます。 VMS Install ユーティリティを終了するには，EXIT コマンドを入力します。

日本語 DEC Notes では，約 3750 ページのグローバル・ページが必要です。使用できるページ数が 3750 ページ未満の場合には，VMS Install ユーティリティを使用して，既存の既知のイメージを削除できます。また，VMS System Generation ユーティリティ (SYSGEN) を使用して，ファイル SYS$SYSTEM:MODPARAMS.DAT を変更し，AUTOGEN コマンド・プロシージャ SYS$UPDATE:AUTOGEN.COM を起動することにより，GBLPAGES システム・パラメータを増大することもできます。たとえば，次の行を MODPARAMS.DAT に指定できます。

```
ADD_GBLPAGES=4000
```

AUTOGEN コマンド・プロシージャの詳細については，
VMS System Management サブキットを参照してください。

使用可能なグローバル・セクション数は，次に示すように SYSGEN を起動することにより判断できます。

```
$ RUN SYS$SYSTEM:SYSGEN
SYSGEN> USE CURRENT
SYSGEN> SHOW GBLSECTIONS
   .
   .
   .
SYSGEN> EXIT
```

最後に表示される値は最大グローバル・セクション数です。この値を，VMS Install ユーティリティで表示された使用中のグローバル・セクション数と比較してください。日本語 DEC Notes では，最大 10 個のグローバル・セクションが必要です。したがって，使用済みグローバル・セクション数に 10 を加算した値が最大グローバル・セクション数より大きい場合には，日本語 DEC Notes をインストールする前に，使用可能なグローバル・セクション数を増大する必要があります。この値を増大するには，SYSGEN を使用し，ファイル SYS$SYSTEM:MODPARAMS.DAT を変更し，SYS$UPDATE:AUTOGEN.COM コマンド・プロシージャを起動することにより，GBLSECTIONS システム・パラメータを増加しなければなりません。 AUTOGEN コマンド・プロシージャの詳細については，VMS System Management サブキットを参照してください。

使用済みグローバル・セクション数に 10 を加算した値が最大グローバル・セクション数より少ない場合には，SYSGEN を終了し，インストールを続行できます。

1.5 ユーザ・アカウント・クォータと特権

日本語 DEC Notes を使用するには，各アカウントに TMPMBX 特権と NETMBX 特権が必要であり，各クォータが次の最小値を満たさなければなりません。

- AST リミット (ASTLM): 24 (最小値)
- バッファード入出力クォータ (BIOLM): 18 (最小値)
- バッファード入出力バイト・カウント・クォータ (BYTLM): 8192 (最小値)
- ダイレクト入出力クォータ (DIOLM): 18 (最小値)

- エンキュー・クォータ (ENQLM): 30 (最小値)
- オープン・ファイル・リミット (FILLM): 20 (最小値)
- ページング・ファイル・クォータ (PGFLQUOTA): 20,000 ページ (最小値)
- サブプロセス生成クォータ (PRCLM): 2 (最小値)
- ワーキング・セット・サイズ (WSDEF): 512 ページ (最小値)，1024 ページ (最適値)

これらのクォータの現在の値と日本語 DEC Notes の必要条件を比較するには，VMS Authorize ユーティリティ (AUTHORIZE) を使用します。たとえば，次の例で使用されているアカウントは SYSTEM アカウントです。

```
$ SET DEFAULT SYS$SYSTEM
$ RUN AUTHORIZE
UAF> SHOW SYSTEM
```

ユーザ・アカウント・クォータと特権の値を変更するには，VMS Authorize ユーティリティの MODIFY コマンドを使用します。詳細については，『OpenVMS Authorize Utility Manual』を参照してください。

1.6 VMS License Management Facility

この製品では，OpenVMS (バージョン 5.0 以上) で提供される License Management Facililty (LMF) 機能がサポートされ，Product Authorization Key (PAK) が登録されている必要があります。

必要なライセンス登録情報は，日本語 DEC Notes に添付されている PAK に同梱されています。 PAK は特定のソフトウェアを実行するのに必要なライセンスに関する情報を記載した認定書です。

インストール時に，日本語 DEC Notes ライセンスを登録したかどうかと，適切な登録キーをロードしたかどうかが質問されます。 Installation Verification Procedure (IVP) を実行し，このソフトウェアを使用するには，インストールを開始する前に，日本語 DEC Notes のライセンスを登録し，ロードしておかなければなりません。

OpenVMS バージョン 5.0 以上でライセンスを登録するには，まずシステム管理者のアカウント， SYSTEM にログインします。次に，次のいずれかの方法で登録を行います。

- SYS$UPDATE:VMSLICENSE.COM プロシージャを起動する。情報を要求するプロンプトが表示されたら， PAK に記載されているデータを入力する。
- DCL の LICENSE REGISTER コマンドと， PAK の情報に対応する適切な修飾子を入力する。

VMSLICENSE.COM プロシージャと LMF の管理機能の詳細については，『OpenVMS License Management Utility Manual』を参照してください。

日本語 DEC Notes のキットは 1 つのみですが，ライセンスは次の 5 種類があります。

- NOTES-UI-JAPANESE
- NOTES-USER-UI-JAPANESE
- NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE
- NOTES-CLIENT-USER
- NOTES-SERVER-LANLINK

NOTES-UI-JAPANESE ライセンスと NOTES-USER-UI-JAPANESE ライセンスは完全な機能を備えています。この 2 つのライセンスの違いは， NOTES-USER-UI-JAPANESE ライセンスでは，一度に日本語 DEC Notes を使用できるユーザの最大数が指定されているという点です。 NOTES-UI-JAPANESE ライセンスには，最大ユーザ数の制限がありません。

NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE ライセンスと NOTES-CLIENT-USER ライセンスでは，完全な機能は提供されません。この 2 つのライセンスの違いは，NOTES-CLIENT-USER ライセンスでは，一度に日本語 DEC Notes を使用できるユーザの最大数が指定されているということです。ユーザはリモート・コンファレンスにだけアクセスできます。ローカル・コンファレンスを作成したり，アクセスすることはできません。 NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE ライセンスでは，ユーザ数は制限されません。

NOTES-SERVER-LANLINK ライセンスでは，DEC Notes サーバをノードで実行できますが，DEC Notes クライアントは実行できません。ユーザはリモート・ノードの DEC Notes クライアントまたは他のプラットフォームの Conferencing クライアントを使用して，ライセンスが提供されるノードのコンファレンスにアクセスできます。

NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE ライセンスのあるシステムのユーザが NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE ライセンスで認められていない操作を実行しようとすると，次のエラー・メッセージが戻されます。

```
Your software license does not allow this operation
```

NOTES-USER-UI-JAPANESE ライセンスのあるシステムのユーザが日本語 DEC Notes を起動しようとしたときに，すでにライセンスで認められている最大数のユーザが日本語 DEC Notes を使用している場合には，次のエラー・メッセージが戻されます。

```
$ NOTES
%LICENSE-F-NOAUTH, DEC NOTES-USER-UI-JAPANESE use is not authorized on this node
-LICENSE-F-EXCEEDED, attempted usage exceeds active license limits
-LICENSE-I-SYSMGR, please see your system manager
```

1.7 VMSINSTAL の使用

日本語 DEC Notes をインストールするために特権付きアカウントにログインした後，省略時のディレクトリを SYS$UPDATE: に設定し，VMSINSTAL を起動します。これは，この製品をインストールするコマンド・プロシージャです。このプロシージャの例は，第 2 章の手順 1 と手順 2 に示されています。

```
$ SET DEFAULT SYS$UPDATE
$ @VMSINSTAL NOTESJA025 ddn: [OPTIONS N]
```

また，NOTESJA025 の代わりにアスタリスク (*) を入力することもできます。磁気テープからインストールする場合には，アスタリスクを使用すると，インストール時間を短縮できます。アスタリスクを指定すると，日本語 DEC Notes は最小のテープ・パスでインストールされます。次の例を参照してください。

```
$ SET DEFAULT SYS$UPDATE
$ @VMSINSTAL * ddn: [OPTIONS N]
```

コマンド・パラメータについては，この後の説明を参照してください。最初の 2 つのパラメータ (NOTESJA025 と ddn:) を指定しなかった場合には， VMSINSTAL は製品名とデバイス名を要求するプロンプトを表示します。製品名とデバイス名を要求するプロンプトを表示し，リリース・ノートを表示または印刷する場合には，次のように入力してください。

```
$ @SYS$UPDATE:VMSINSTAL "" "" OPTIONS N
```

ddn:
ディストリビューション・ボリュームがマウントされるデバイスの名前を指定します。ただし，*dd*はデバイス・コードであり，*n*はユニット番号です。日本語 DEC Notes をインストールするために，コンソール・ドライブを使用する必要はありません。コンソール・ドライブを使用する場合には，ドライブから取り出したメディアを交換しなければなりません。 CSA1: は本書の例で使用されるデバイス名です。

OPTIONS N
これは省略可能なパラメータであり，リリース・ノートを表示または印刷するためのプロンプトを表示したいときは，このパラメータを指定しなければなりません。 OPTIONS N パラメータを指定しなかった場合には， VMSINSTAL はリリース・ノートの表示または印刷を促すプロンプトを表示しません。 VMSINSTAL では，この他にもいくつかのオプションを使用できます。他のオプションの詳細については，各プロセッサのインストレーション/操作ガイドを使用してください。

VMSINSTAL を起動すると，次のことが確認されます。

- 特権付きアカウントにログインしているかどうか。システム管理者のアカウントからソフトウェアをインストールする場合には，省略時のデバイスとディレクトリを SYS$UPDATE に設定することが望ましい。
- インストールに必要なクォータがあるかどうか。 VMSINSTAL は次のクォータ値を確認する。
  - ASTLM = 24
  - BIOLM = 18

- BYTLM = 18000
- DIOLM = 18
- ENQLM = 30
- FILLM = 20

次に，VMSINSTAL は次の条件が満たされるかどうか確認します。

- DECnet が起動されておらず，実行されていないこと。
- 他のユーザがシステムにログインしていないこと。

VMSINSTAL でこれらの条件が確認されると，インストールを続けるかどうか質問されます。続ける場合は YES と入力してください。インストールを中断する場合は，RETURN を押してください。

2

日本語 DEC Notes のインストール

この章では，インストレーション・プロシージャの抜粋を示し，各手順について説明します。インストレーション・プロシージャでの省略時の設定は，大括弧で囲んで示しています。

2.1 インストレーション・プロシージャの実行

インストレーション・プロシージャを強制終了するには， CTRL/Y を押します。 CTRL/Y を押すと，インストレーション・プロシージャはその時点まで作成したすべてのファイルを削除し， DCL レベルに戻ります。 CTRL/Y を押した後，インストレーション・プロシージャを再実行する場合には，手順 2 から開始しなければなりません。

1. 特権付きアカウントにログインし，省略時のデバイスとディレクトリを SYS$UPDATE に設定します。

```
Username: SYSTEM
Password:
$ SET DEFAULT SYS$UPDATE
```

2. VMSINSTAL を起動します。

```
$ @VMSINSTAL NOTESJA025 CSA1: OPTIONS N
      VAX/VMS Software Product Installation Procedure Vx.x


It is dd-mmm-yyyy at hh:mm.
Enter a question mark (?) at any time for help.
* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]? YES
```

システム・ディスクのバックアップに問題がない場合には，RETURN を押します。バックアップに問題がある場合には，NO と入力し，RETURN を押し，インストレーションを中止します。

3. インストレーション・キット・ボリュームを挿入します。

```
Please mount the first volume of the set on CSA1:.
* Are you ready? YES
The following products will be processed:

  NOTES 2.5


    Beginning installation of NOTESJA V2.5 at hh:mm

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product saveset A...
```

インストレーションを続ける場合は，YES と入力し，RETURN を押します。

4. リリース・ノート・オプションを選択します。

この手順は，手順 2 で OPTIONS N を指定した場合にのみ実行されます。

```
Release notes included with this kit are always copied to SYS$HELP.

Additional Release Notes Options:

    1. Display release notes
    2. Print release notes
    3. Both 1 and 2
    4. None of the above

* Select option [2]: 2
```

オプション 1 を選択した場合には，VMSINSTAL はリリース・ノートをオンラインでただちに表示します。 CTRL/C を押すと，いつでも表示を終了できます。

オプション 2 を選択した場合には，VMSINSTAL はキュー名を要求するプロンプトを表示します。プロンプトに対してキュー名を入力します。または，ファイルを省略時の出力プリント・デバイスに送信するときは RETURN を押します。

```
* Queue name [SYS$PRINT]: SYS$PRINT
```

オプション 3 を選択した場合には，VMSINSTAL はリリース・ノートをオンラインでただちに表示し，キュー名を要求するプロンプトを表示します。

オプション 4 を選択した場合には，VMSINSTAL はリリース・ノートの表示，印刷，またはコピーを行いません。通常，このオプションは，ユーザがインストレーションを終了するときに選択します。

注意

VMSINSTAL でインストールされるリリース・ノート・ファイルのこのバージョンには，現在の製品名とバージョン番号がラベルに示されています。 DEC Notes の以前のバージョンのリリース・ノートを削除しないように注意してください。

次に，VMSINSTAL は次のプロンプトを表示します。

```
* Do you want to continue the installation [N]?: YES
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, The product's release notes have been successfully
    moved to SYS$HELP.
```

インストレーションを続行するときは，YES と入力し，RETURN を押します。 NO と入力するか，RETURN を押すと，VMSINSTAL はインストレーションを中止します。どちらの場合も，VMSINSTAL はリリース・ノートを SYS$HELP に移動します。

5. インストレーション・オプションを選択し，ライセンスを指定します。

```
*************************************************************
              DEC Notes/Japanese Installation Procedure
      Copyright (c) Digital Equipment Corporation. 1996.
                    All Rights Reserved.
```

```
                        DEC Notes/Japanese V2.5

    DEC Notes can be installed on any system running
    OpenVMS AXP V6.1 (or later).
    This installation will fail if this system is running an
    older version of OpenVMS.

    DEC Notes/Japanese provides both a character-cell and a DECwindows/Motif
    user interface.  Use of the DECwindows/Motif interface requires
    that DECwindows/Motif V1.2 (or later) be installed.
    This installation can continue and the character-cell interface can
    be used if the required version of DECwindows/Motif is not installed.

    DEC Notes/Japanese supports both DECnet and TCP/IP transports.  Use of
    the TCP/IP transport requires prior installation of
    V3.1 (or later) of DEC TCP/IP Services for OpenVMS.
    Installation can continue and only the DECnet transport will be
    used if the required version of DEC TCP/IP Services for OpenVMS is
    not installed on this system.

    An appropriate software license is required to run DEC Notes/Japanese.
    The license should be installed before attempting to install
    DEC Notes/Japanese.  If you have not yet installed a DEC Notes/Japanese
    license, you can continue with this installation, but you will be unable
    to run either DEC Notes/Japanese or the DEC Notes/Japanese Installation
    Verification Procedure until an appropriate license has been installed.

  ************************************************************

* Do you want to continue with this installation [YES]?
```

この時点でインストレーションを続行するときは，YES と入力し，RETURN を押します。NO と入力するか，または RETURN だけを押した場合には，VMSINSTAL はインストレーションを中止します。

```
* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]? YES
```

ディレクトリ SYS$HELP，SYS$LIBRARY，SYS$MANAGER，および SYS$SYSTEM には，DEC Notes あるいはVAX Notesファイルの以前のバージョンが格納されている可能性があります。これらのファイルはインストール時に新しいファイルに置き換えられますが，古いファイルは自動的に消去されません。なるべく消去するようにしてください。消去プロンプトに対する応答として，ファイルを消去するときは RETURN を押し，消去せずに保存するときは NO と入力します。

```
* Do you want to run the IVP after the installation [YES]? YES
```

Installation Verification Procedure (IVP) は，インストレーション・プロシージャが正常終了したかどうかを確認するためのテストを実行します。インストレーションの後で IVP を実行するときは，RETURN を押します。 IVP を実行しないときは，プロンプトに対する応答として NO と入力します。

```
%NOTESJA-I-CHKPRDVER, Checking installation requirements

    All installation and product dependencies will now be checked.
    If problems are discovered, it may still be possible to complete
    this installation, depending upon the nature of the problems.

%NOTESJA-I-VMSVER, Checking OpenVMS version...
%NOTESJA-I-MOTIFVER, Checking DECwindows/Motif version...
%NOTESJA-I-UCXVER, Checking DEC TCP/IP Services for OpenVMS version...
%NOTESJA-I-SYSRES, Checking system resources...
```

購入したライセンスを指定するように要求するプロンプトが表示されます。

```
  Please indicate the level of capability that you want to install:

        1. Full capability (NOTES-UI-JAPANESE or NOTES-USER-UI-JAPANESE)
        2. TeamLinks DEC Notes/Japanese server (NOTES-SERVER-LANLINK)
        3. Reduced capability, client-only (NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE or
           NOTES-CLIENT-USER)

* Enter the number of the level of capability to install [1]:
```

次に，日本語 DEC Notes PAK を登録し，ロードしたかどうかを確認するプロンプトが表示されます。

```
       Product:      NOTES-UI-JAPANESE or NOTES-USER-UI-JAPANESE
       Producer:     DEC
       Version:      2.5
       Release Date: dd-mmm-yyyy

* Does this product have an authorization key registered and loaded? YES
```

PAK を登録し，ロードした場合には， YES と入力してください。まだロードしていない場合には， NO と入力してください。その場合には， IVP は実行されません。

6. 適用可能な場合は，サーバ・アカウントをセットアップします。

注意

手順 6 は，完全な機能を持つライセンス (NOTES-UI-JAPANESE または NOTES-USER-UI-JAPANESE) を購入した場合にだけ実行されます。NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE ライセンスを購入した場合には，この手順をとばして，手順 7 に進んでください。

日本語 DEC Notes のアップグレードをインストールする場合には，手順 6a に進んでください。初めて日本語 DEC Notes をインストールする場合には，手順 6a をとばし，手順 6b に進んでください。

a. 日本語 DEC Notes のアップグレードのインストール (NOTES-UI-JAPANESE または NOTES-USER-UI-JAPANESE ライセンス)

次のメッセージは，日本語 DEC Notes のアップグレードをインストールする場合にだけ表示されます。

```
%NOTES-I-EXISTS, NOTES$SERVER account already exists
%NOTES-I-MODACC, Modifying account NOTES$SERVER...
%VMSINSTAL-I-ACCOUNT, This installation updates an account named NOTES$SERVER.
%UAF-I-MDFYMSG, user record(s) updated
%NOTES-I-EXISTS, The logical NOTES$LIBRARY exists
%NOTES-I-ASSUMEOK, This installation will assume it is properly defined

  The network object NOTES has been defined.  If you wish
  to view this, run SYS$SYSTEM:NCP and issue the command
        NCP> LIST OBJECT NOTES CHAR
```

TCP/IP がインストールされていない場合には，次のメッセージは表示されません。

```
  The TCP/IP service NOTES has been defined.  If you wish
  to view this, run SYS$SYSTEM:UCX and issue the command
        UCX> SHOW SERVICE/FULL NOTES
```

この時点で手順 6b をとばし，手順 7 に進んでください。

b. 初めての日本語 DEC Notes のインストール (NOTES-UI-JAPANESE または NOTES-USER-UI-JAPANESE ライセンス)

日本語 DEC Notes を初めてインストールする場合には，次のメッセージが表示され，新規 NOTES$SERVER アカウントに割り当てる UIC 番号が要求されます。なるべく省略時の UIC [376,377]を使用してください。省略時の設定を使用しなかった場合には，固有の UIC を使用するように注意してください。

```
  In order to ensure that the DEC Notes/Japanese server runs with the proper
  quotas, this installation procedure will create an account for the server.
  This account, NOTES$SERVER, has no special privileges and is set up for only
  network operation.

      You must specify a unique UIC for this account in order
      to ensure proper security of your conferences.

  You may want to change the password on this account after the
  installation has completed.  If you do, you must also change the
  password with NCP SET/DEF OBJECT NOTES commands.

* Enter UIC for NOTES server account (include brackets) [[376,377]]:
%NOTESJA-I-CREACC, Creating account NOTES$SERVER for the DEC Notes server
%VMSINSTAL-I-ACCOUNT, This installation creates an ACCOUNT named NOTES$SERVER.
%UAF-I-ADDMSG, user record successfully added
%UAF-I-RDBADDMSGU, identifier NOTES$SERVER value [000376,000377] added to
   rights database
%NOTESJA-I-MODACC, Modifying account NOTES$SERVER quotas...
%VMSINSTAL-I-ACCOUNT, This installation updates an ACCOUNT named NOTES$SERVER.
%UAF-I-MDFYMSG, user record(s) updated
%VMSINSTAL-I-ACCOUNT, This installation updates an ACCOUNT named NOTES$SERVER.
%UAF-I-MDFYMSG, user record(s) updated
%VMSINSTAL-I-ACCOUNT, This installation updates an ACCOUNT named NOTES$SERVER.
%UAF-I-MDFYMSG, user record(s) updated
%VMSINSTAL-I-ACCOUNT, This installation updates an ACCOUNT named NOTES$SERVER.
%UAF-I-MDFYMSG, user record(s) updated
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
   SYS$SYSDEVICE:[NOTES$SERVER].
```

コンファレンスを格納するために使用するデバイスの名前を要求するプロンプトが表示されます。ここではデモンストレーションの目的で，DUA1: というデバイス名を使用します。

```
  DEC NOTES/Japanese conference files are stored in a directory named
  [NOTES$LIBRARY].
  You must designate the device on which this directory is to be created.

  Be sure that the device you specify has plenty of free
  blocks to permit normal conference file expansion.

* Device to be used for storing conferences: SYS$SYSDEVICE
%VMSINSTAL-I-SYSDIR, This product creates system disk directory
   SYS$SYSDEVICE:[NOTES$LIBRARY].

  The DECnet object NOTES has been defined.  If you wish
  to view this, run SYS$SYSTEM:NCP and issue the command
        NCP> LIST OBJECT NOTES CHAR

  The TCP/IP service NOTES has been defined.  If you wish
  to view this, run SYS$SYSTEM:UCX and issue the command
        UCX> SHOW SERVICE/FULL NOTES
```

7. メッセージを読みます。

   日本語 DEC Notes インストレーション・プロシージャでは，インストールの進行状況に関して多くの情報メッセージが表示されます。インストレーション・プロシージャが正常終了すると，新しいファイルまたは変更されたファイルがターゲット・ディレクトリに移動されます。

```
  No further questions will be asked during this installation.
  Completion of the installation should take another 5-10 minutes.



  This installation will add the following files:
   .
   .
   .
```

   SYS$HELP:HELPLIB.HLB ファイルと SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE ファイルは更新され，日本語 DEC Notes ヘルプ・テキストと NOTES コマンド・ライン定義の新しいバージョンを含むようになります。

   手順 5 でファイルの消去を要求するプロンプトに対して YES と入力した場合には，DEC Notes ファイルの以前のバージョンはここで消去されます。

8. 情報メッセージの確認と Installation Verification Procedure (NOTES-UI-JAPANESE または NOTES-USER-UI-JAPANESE ライセンス)

```
This installation will add the following files:

      [SYSLIB]NOTES$SHARE.EXE
      [SYSLIB]NOTES$SECTION.TPU$SECTION
      [SYSEXE]NOTES$MAIN.EXE
      JSY$SYSTEM:NOTES$COMMAND.TPU
      [SYSEXE]NOTES$SERVER.EXE
      [SYSEXE]NOTES$SERVER_LOGIN.COM
      SYS$SYSROOT:[SYSTEST]NOTES$IVP.COM
      [SYSMGR]NOTES$REMOVE.COM
      [SYSMGR]NOTES$MOVE_CONFERENCE.COM
      NOTES$LIBRARY:NOTES$SAMPLE.NOTE
      NOTES$LIBRARY:JNOTES$SAMPLE.NOTE
      SYS$SYSROOT:[SYSTEST]NOTES$IVP_CLIENT.COM
      SYS$SYSROOT:[SYSTEST]NOTES$IVP_LOCAL.COM
      [SYSHLP]NOTESJA025.RELEASE_NOTES
      [SYSHLP]NOTES_SHORTGUIDE.MEM
      [SYSHLP]NOTES$HELP.HLB
      [SYSHLP]NOTES$DWHELP.HLB
      [SYSLIB]NOTES$DWSHARE.EXE
      [SYSLIB]NOTES$DWNOTES.UID
      [SYSLIB]NOTES$DEFAULTS.DAT
      [SYS$STARTUP]NOTES$STARTUP.COM
      [DECW$DEFAULTS.SYSTEM]LWK_REG_NOTESNOTE.UID

************************************************************
REMINDERS:

1. SYSTEM STARTUP
   --------------

After the installation has completed, you should execute

          SYS$STARTUP:NOTES$STARTUP.COM

on each system on which this copy of DEC Notes will be run.

You should also edit your system startup procedure to run
SYS$STARTUP:NOTES$STARTUP.COM on each system on which this
copy of DEC Notes will be run.
```

```
** IMPORTANT NOTE: Installation instructions for previous
versions of VAX Notes suggested that NOTES$STARTUP.COM be
run prior to network startup during the system startup process.
It is now recommended that NOTES$STARTUP run AFTER network
startup has COMPLETED, particularly if TCP/IP will be used
as the network transport for DEC Notes connections.

2. DEC NOTES SHUTDOWN OR DEINSTALLATION
   ------------------------------------

A new utility, SYS$MANAGER:NOTES$REMOVE.COM, can be used to
deinstall DEC Notes/Japanese or to prevent new servers from executing.
Type:

              $ @SYS$MANAGER:NOTES$REMOVE

for further details.

3. VMSCLUSTER ENVIRONMENTS
   -----------------------

If DEC Notes/Japanese is run in a VMScluster environment with
multiple copies of SYS$SYSTEM:NETOBJECT.DAT in use, NCP must be
used to define the NOTES DECnet object in each copy of NETOBJECT.DAT.
The password used when defining the NOTES object must always
match the password for account NOTES$SERVER in the system
authorization file.

If DEC Notes/Japanese is run in a VMScluster environment with
multiple copies of SYS$SYSTEM:UCX$SERVICE.DAT in use, it is
similarly required that UCX be used to define the NOTES service
in each copy of UCX$SERVICE.DAT.  This can normally be accomplished
by running NOTES$STARTUP.COM on each system.  NOTES$STARTUP.COM
will attempt to properly define and enable the NOTES service
each time it is executed.

%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...
%NOTES-I-SHUT, Disabling Notes server...
%NOTES-I-STARTDNSRV, Notes server enabled for DECnet
%NOTES-I-STARTTCPSRV, Notes server enabled for TCP/IP
```

手順 5 で IVP を実行することを選択した場合には，VMSINSTAL はここで IVP を呼び出して，日本語 DEC Notes が正しくインストールされたかどうか確認します。

```
    Beginning the DEC Notes/Japanese V2.5 Installation Verification Procedure.
Copyright (c) Digital Equipment Corporation. 1988, 1996. All Rights Reserved.

    Testing OPEN, READ, DIRECTORY, SHOW, HELP, and CLOSE.

    Successful completion of this procedure does not imply the presence
    of a full function DEC Notes/Japanese license.

                              電子会議システム
                    ヘルプが必要な場合には , HELP コマンドを入力してください

ノートブック (NOTES$NOTEBOOK) を作成中
SYS$SYSROOT:[SYSMGR]NOTES$NOTEBOOK.NOTE;1 created
エントリ SAMPLE_CONFERENCE がクラス MAIN に追加されました

Copyright (c) Digital Equipment Corporation. 1986, 1996. All Rights Reserved.

                            DEC Notes Sample Conference
作成: 27-JAN-1986 10:39         9 トピック              更新: 26-JAN-1993 17:34

ノート 1.0                    Welcome to DEC Notes          リプライの数は 7
MAR::JOHN_Q_NOTER "I'll make a note!"                    24 行 27-JAN-1986 10:42

    DEC Notes is a computer-mediated conferencing system that lets you
    conduct online conferences or meetings.  Using DEC Notes, you can
    communicate conveniently and economically with people in different
    geographic locations.  Anyone connected to the system can participate,
    making it possible for you to receive input from many people without
    costly, time-consuming meetings.

    This sample conference has been provided to help you quickly get
    started using DEC Notes.  It contains definitions of terms, ways to
    read notes, a place for you to add your first reply, and helpful hints
    for running and participating in an online conference.  This conference
    also has information about choosing an editor for writing notes,
    running DEC Notes in batch mode, and protecting a confidential meeting
    with an Access Control List (ACL).

    To continue reading this note, press the RETURN key.
[ 8 行続きがあります... ]

[ 6 行続きがあります... ]

                            DEC Notes Sample Conference
作成: 27-JAN-1986 10:39         9 トピック              更新: 26-JAN-1993 17:34

トピック 作成者                 日付         リプライ タイトル
```

```
     1     MAR::JOHN_Q_NOTER 27-JAN-1986     7  Welcome to DEC Notes
     2     MAR::JOHN_Q_NOTER 27-JAN-1986     1  Choosing an editor to use in DE
     3     MAR::NEW_USER     27-JAN-1986     2  Help! I don't understand NEXT U
     4     MAR::JOHN_Q_NOTER 27-JAN-1986     0  Who Are You? - Tell us about yo
     5     MAR::JOHN_Q_NOTER 27-JAN-1986     3  Using the DIRECTORY, PRINT and
     6     MAR::JOHN_Q_NOTER 27-JAN-1986     0  Suggestions for the Welcome note
     7     MAR::JOHN_Q_NOTER 27-JAN-1986     5  Online Etiquette
     8     MAR::JOHN_Q_NOTER 27-JAN-1986     1  Using NOTES$COMMAND to Define A
     9     MAR::JOHN_Q_NOTER  3-FEB-1986     0  DEC Notes Security Consideratio
[ リストの終わり ]
ノート 1.0                  Welcome to DEC Notes          リプライの数は 7
MAR::JOHN_Q_NOTER "I'll make a note!"                   24 行 27-JAN-1986 10:42

     ノートは隠されていません
     リプライは許可されています

                          DEC Notes Sample Conference
作成: 27-JAN-1986 10:39        9 トピック            更新: 26-JAN-1993 17:34

     ファイル:    JRDORA::SYS$SYSDEVICE:[NOTES$LIBRARY]NOTES$SAMPLE.NOTE;1
     モデレーター:MAR::JOHN_Q_NOTER

     アクセスは制限されていません
     キーワードの作成は制限されています
     ノートを書き込むことができます

                NOTES$LIBRARY: のコンファレンスのディレクトリ

コンファレンス・ファイル

  JNOTES$SAMPLE
   タイトル: 日本語 VAX Notes コンファレンス例
   モデレーター:  SALES::TAKAHASHI
   作成: 16-JAN-1991 14:03  10 トピック , 33 ノート   更新: 16-JAN-1991 14:11

  NOTES$SAMPLE
   タイトル: DEC Notes Sample Conference
   モデレーター:  MAR::JOHN_Q_NOTER
   作成: 27-JAN-1986 10:39  9 トピック , 28 ノート   更新: 26-JAN-1993 17:34
[ リストの終わり ]
```

```
                          DEC Notes Sample Conference
作成: 27-JAN-1986 10:39         9 トピック            更新: 26-JAN-1993 17:34
 メンバ           ノード              メール・アドレス                特権

 JOHN_Q_NOTER     MAR::JOHN_Q_NOTER                                  [M]
 SYSTEM           0::SYSTEM           SYSTEM                         [MK]
[ リストの終わり ]

DEC Notes V2.5-0J - Copyright (c) Digital Equipment Corporation. 1986, 1996.


Command_Summary

     DEC Notesを初めて使用する場合には，次のようにしてヘルプを使用して
     ください。

     o  基本的なコマンドの使用例を表示するためにはNew_Userとタイプしま
        す。

     o  DEC Notesで使用する用語や概念についての説明を表示するためには，
        Terms_and_Conceptsとタイプします。

     o  DEC Notesのすべてのコマンドのリストを表示するためには，疑問符
        (?)をタイプします。

     基本コマンド:

       ADD ENTRY            REPLY (または ANSWER)   CLOSE
       DIRECTORY            EXIT                    PRINT
       NOTES (DCL コマンド)  HELP                    WRITE
       READ                 OPEN

     以下の項目は，より詳しい説明や，より高度なコマンドの使い方の説明で
     す:

       Information_Commands  Keyword_Commands        Logical_Names
       Moderator_Commands    Notebook_Commands       Subprocess_Commands
       Other_Utilities       Reading_Notes

                          電子会議システム
                ヘルプが必要な場合には，HELP コマンドを入力してください

    If the informational output above is similar to the example
    displayed in the DEC Notes/Japanese Installation Guide, then this
    installation is successful.

    The DEC Notes/Japanese V2.5 Installation Verification Procedure completed.
```

9. 情報メッセージの確認と Installation Verification Procedure (NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE ライセンス)

   NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE ライセンスの場合の日本語 DEC Notes のインストレーションのメッセージと IVP は，付録 A に示すとおりです。

10. インストレーション・プロシージャを終了します。

```
    Installation of NOTESJA V2.5 completed at hh:mm
Adding history entry in VMI$ROOT:[SYSUPD]VMSINSTAL.HISTORY
Creating installation data file: VMI$ROOT:[SYSUPD]NOTESJA025.VMI_DATA

    VMSINSTAL procedure done at hh:mm
```

   製品のインストレーション・プロシージャが終了するときに，他の製品をインストールするのか，ログアウトするのかを選択できます (ここではログアウトします)。インストレーションを開始する前にコンソール・ドライブからメディアを取り出した場合には，ここで元に戻してください。

   VMSINSTAL はインストール時にプロセス・シンボル・テーブルのエントリを削除または変更します。したがって，今後もシステム管理者のアカウントを使用し，これらのシンボルを復元したい場合には，一度ログアウトして，再度ログインしなければなりません。

3

インストール後の手順

この章では，日本語 DEC Notes をインストールした後で実行しなければならない作業について説明します。

3.1 システム・スタートアップ・ファイルの変更

ネットワークを起動した後， SYS$STARTUP:NOTES$STARTUP.COM が起動されるように，システム・スタートアップ・ファイル SYSTARTUP_VMS.COM を変更しなければなりません。

注意

DEC Notes の以前のバージョンでは，ネットワークを起動する前に，SYS$STARTUP:NOTES$STARTUP.COM を起動するように，システム・スタートアップ・ファイル SYSTARTUP_VMS.COM を変更しなければなりませんでした。この条件は，日本語 DEC Notes の Version 2.5 で変更されました。今後はネットワークを起動した後に，SYS$STARTUP:NOTES$STARTUP.COM を起動するように，システム・スタートアップ・ファイルを変更しなければなりません。

3.2 ネットワーク・トランスポート情報

この節では， Notes がネットワーク・トランスポートを選択する方法について説明します。

DECnet ネットワーク・トランスポートと TCP/IP ネットワーク・トランスポートの両方が動作している必要はありません。どちらか一方のネットワーク・トランス

ポートが動作していない場合には，Notes サーバはもう 1 つのトランスポートを使用します。

Notes サーバが起動され，実行された後，サポートされるネットワーク・トランスポートの 1 つの新しいバージョンをインストールした場合には，NOTES$STARTUP.COM を再実行して，Notes サーバで新しいトランスポートを有効にしなければなりません。

3.2.1 DECnet 情報

DECnet オブジェクト・データベースで Notes オブジェクトに対してパスワードが定義されます。このパスワードは，システム登録ファイル (SYS$SYSTEM:SYSUAF.DAT) で NOTES$SERVER アカウントに割り当てられているアカウントと一致しなければなりません。

SYS$STARTUP:NOTES$STARTUP.COM は，DECnet データベース (SYS$SYSTEM:NETOBJECT.DAT) で Notes オブジェクト (オブジェクト 33) を有効に設定しようとします。ネットワーク・トランスポートの 1 つとして DECnet を使用する計画がある場合には，NOTES$STARTUP を実行する前に，DECnet の構成とスタートアップを完了しておかなければなりません。

NOTES$SERVER.COM が起動されるときに，DECnet が動作していない場合には，Notes サーバは DECnet 接続を受け付けることができません。

Notes オブジェクトが正しく有効に設定されると，Notes サーバは DECnet 接続を受け付けることができるようになります。

3.2.2 TCP/IP 情報

NOTES$STARTUP.COM は，日本語 DEC TCP/IP Services for OpenVMS が使用可能かどうか判断します。使用可能な場合には，NOTES$STARTUP.COM は TCP/IP Service データベース (SYS$SYSTEM:UCX$SERVICE.DAT) で Notes サービス (ポート 3333) を有効に設定しようとします。

ネットワーク・トランスポートの 1 つとして TCP/IP を使用する計画がある場合には，NOTES$STARTUP.COM を実行する前に，TCP/IP の構成とスタートアップを完了しておかなければなりません。 NOTES$STARTUP.COM を起動する前に TCP/IP が動作していない場合には，Notes サーバは TCP/IP 接続を受け付けることができません。

Notes サービスを正しく有効に設定すると，日本語 DEC TCP/IP Services for OpenVMS によって，ファイル SYS$SYSTEM:NOTES$SERVER.COM が作成され (まだ存在しない場合)，Notes サーバは TCP/IP 接続を受け付けることができるようになります。

3.3 VAXcluster での日本語 DEC Notes のインストール

複数のノードを接続した VAXcluster で日本語 DEC Notes を実行したい場合には，まず，適切なソフトウェア・ライセンスがあるがどうか確認してください。その後，クラスタ内の他の各ノードの特権付きアカウントにログインし，次の操作を実行します。

1. LICENSE LOAD コマンドを使用して，ライセンスをアクティブにします。『OpenVMS License Management Utility Manual』の説明を参照してください。
2. 次のコマンドを入力します。

```
$ INSTALL :== $INSTALL/COMMAND_MODE
$ INSTALL
INSTALL> REPLACE SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE
INSTALL> EXIT
```

3. クラスタにサーバがある場合には (つまり，1 つ以上のノードに NOTES-UI-JAPANESE または NOTES-USER-UI-JAPANESE ライセンスがある場合)，次のいずれかの操作を実行しなければなりません。
   a. 日本語 DEC Notes をこのシステムに初めてインストールする場合には，次のコマンドを入力します。

```
$ RUN SYS$SYSTEM:NCP
NCP> DEF OBJ NOTES NUM 33 FILE NOTES$SERVER.EXE
NCP> DEF OBJ NOTES USER NOTES$SERVER PASSWORD <password> PROXY OUT
NCP> SET OBJ NOTES ALL
NCP> EXIT
```

注意

<password>フィールドで使用するパスワードは，NOTES$SERVER アカウントのパスワードと一致しなければなりません。

b. これが日本語 DEC Notes のアップグレードである場合には，以前の Notes サーバ (NOTES$nnnn_nという名前のネットワーク・プロセス) を停止して，新しいサーバ・コードで再起動されるようにします。それぞれ，DCL の SHOW SYSTEM/NETWORK コマンドと STOP/IDENTIFICATION コマンドを使用してください。

4. 次のコマンドを入力します。

```
$ @SYS$STARTUP:NOTES$STARTUP.COM
```

3.4 インストール後の日本語 DEC Notes の起動

第 2 章で説明した手順をすべて実行し，システム・スタートアップ・ファイルを編集した後，NOTES コマンドを使用して，すべてのユーザが日本語 DEC Notes を起動できるようになります。

NOTES コマンドが認識され，処理されるように，インストレーション・プロシージャでは DCL コマンド・テーブルを変更します。しかし，現在ログインしているユーザのために，以前のコマンド・テーブルもまだ有効です。現在ログインしているユーザのうち，NOTES コマンドを使用したいユーザは，システムからログアウトして，再度ログインするか，または次のコマンドを使用します。

```
$ SET COMMAND/TABLE=SYS$LIBRARY:DCLTABLES
```

このシステムに NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE ライセンスがある場合には，Notes コンファレンス・ファイルが格納されるシステムを指すように，NOTES$LIBRARY を定義すれば，システムのユーザのためにコンファレンスの指定を簡単にすることができます (この操作が可能なのは，NOTES-UI-JAPANESE または NOTES-USER-UI-JAPANESE ライセンスのあるシステムの場合だけです)。

ユーザの多くがコンピュータの‘‘初心者’’の場合には，ノートブックをセットアップするのに援助が必要なことがあります。システム管理者はこのようなユーザのために，ノートブックをセットアップし，ノートブックに 1 つ以上のエントリを指定することができます。次の例はこの操作方法を示しています。

```
$ DEFINE /USER NOTES$NOTEBOOK NOTES$LIBRARY:NOTES$NOTEBOOK.NOTE
$ NOTES
Notes> ADD ENTRY ABC::DECNOTES !abc::decnotes is used as an example
Notes> ADD ENTRY your-notefile
Notes> SET PROFILE /EDITOR=EDT !make EDT keypad the default
Notes> EXIT
```

その後，NOTES$LIBRARY:NOTES$NOTEBOOK.NOTE というノートブック・ファイルを初心者ユーザの SYS$LOGIN ディレクトリにコピーします。

3.5 日本語 DEC Notes サーバの制御

使用状況によっては，日本語 DEC Notes バージョン 2.5 は，システムで認められている最大サーバ・リンク数を使用してしまう可能性があります。この状況が発生するのを防止するには，日本語 DEC Notes を特定のサーバ数に制限するためのシステム論理名を定義します。さらに，SYS$STARTUP:NOTES$STARTUP.COM ファイルを変更し，次の論理名のどちらか一方または両方を適切な値になるように設定することにより，各サーバのリンク数を制限できます。この例では，値として 4 と 16 を使用しています。

```
$ DEFINE /SYSTEM /EXEC NOTES$SERVER_MAX_SERVERS 4 !per system
$ DEFINE /SYSTEM /EXEC NOTES$SERVER_MAX_LINKS 16  !per server
```

大部分のシステムでは，省略時のサーバ数は無制限です。日本語 DEC Notes では，各サーバで 16 のリンクが省略時の値として設定されています。これらの値は，必要に応じてシステムで変更できます。これらのコマンドを指定する場合には，日本語 DEC Notes をアップグレードするたびに， NOTES$STARTUP ファイルを再変更しなければなりません。

注意

DECnet トランスポートと TCP/IP トランスポートの両方を有効に設定した場合には，リンクの最大数は， 1 つのサーバで同時に開かれる DECnet 接続と TCP/IP 接続の合計になります。

これまで日本語 DEC Notesを実行していなかったシステムに，日本語 DEC Notesをインストールする場合には，ワーキング・セット・エクステント (WSEXTENT) とワーキング・セット・クォータ (WSQUOTA) の省略時の値が NOTES$SERVER アカウントで設定されていることに注意してください。 WSEXTENT の省略時の値は 512 以上で 2048 以下でなければなりません。 WSQUOTA の省略時の値は WSEXTENT の正確に半分です。次のコマンドを使用すれば，これらの省略時の値を変更できます (X と Y に対してシステムで適切な値を指定してください)。

```
$ SET DEFAULT SYS$SYSTEM
$ RUN AUTHORIZE
UAF> MODIFY NOTES$SERVER /WSEXTENT=X /WSQUOTA=Y
UAF> EXIT
```

3.6 Installation Verification Procedure の単独実行

Installation Verification Procedure (IVP) は通常，インストール時に実行されます。システムで問題が発生したときに，インストールされているファイルの整合性を確実にするために， IVP を単独で実行したい場合には， NOTES-UI-JAPANESE または NOTES-USER-UI-JAPANESE ライセンスがあるときは，次のコマンド・プロシージャを実行します。

```
$ @SYS$TEST:NOTES$IVP
```

IVP が正常に実行されると，画面に表示される出力は第 2 章の手順 8 の例に示すとおりになります。何らかの理由で IVP が失敗すると，次のメッセージが表示されます。

```
The DEC Notes V2.5 Installation Verification Procedure failed.
```

NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE ライセンスがある場合には，次のコマンド・プロシージャを実行してください。

```
$ @SYS$TEST:NOTES$IVP_CLIENT
```

IVP が正常に実行されると，画面に表示される出力は付録 A に示した例のとおりになります。何らかの理由で IVP が失敗すると，次のメッセージが表示されます。

```
The DEC Notes V2.5 Client-only Installation Verification Procedure failed.
```

3.7 エラー条件

何らかの理由でインストレーション・プロシージャが失敗した場合には，次のようなメッセージが表示されます。

```
%VMSINSTAL-E-INSFAIL, The installation of Notes V2.5 has failed.
```

インストール時にエラーが発生するのは，次の問題が 1 つ以上あるからです。

- オペレーティング・システム・バージョンが正しくない。
- 正しくインストールするのに必要なクォータが不足している (第 1.3 節または第 1.4 節を参照)。
- VMSINSTAL で必要とされるプロセス・クォータが満たされない (第 1.7 節を参照)。
- VMS HELP ライブラリが現在使用中である。
- 製品が正しく登録されていないか，またはまったく登録されていない。

これらの問題があるために生成されるエラー・メッセージの説明については，『OpenVMS System Messages and Recovery Procedures Reference Volume』，プロセッサのインストレーション/操作ガイド，または『OpenVMS License Management Utility Manual』を参照してください。

これらの問題があることが通知された場合には，メッセージに示される適切な処置をとらなければなりません。システム・パラメータを変更したり，認可されるクォータ値を増大する必要があります。

インストレーションが失敗した場合には，手順 2 からインストレーション・プロシージャを再起動しなければなりません。 IVP が失敗したためにインストレーションが失敗した場合には， DEC のフィールド・サービスにご連絡ください。

3.8 保守用アップデート版

定期的に日本語 DEC Notes の保守用アップデート版がリリースされます。各アップデート版はインストレーション・キットで構成されます。このキットは，本書の説明または保守用アップデート版に添付されているマニュアルの説明に従ってインストールしてください。

保守用アップデート版がリリースされるたびに，バージョン番号が変化します。たとえば，現在のバージョンが 1.0 の場合には，最初の保守用アップデート版のバージョン番号は 1.1 になります。さらに，保守用アップデート版には新しいリリース・ノートも添付されています。リリース・ノートでは，前のリリースから日本語 DEC Notes に対して行われた変更点が説明されています。

保守用アップデート版のリリース・ノートはオンラインで提供されます。日本語 DEC Notes を最初にインストールするときは，リリース・ノートを必ず参照してください。また，製品をインストールした後も，リリース・ノートはいつでもアクセスできます。日本語 DEC Notes をインストールするときにリリース・ノートを参照する方法については，インストレーション・プロシージャの手順 4 に従ってください。日本語 DEC Notes をインストールした後でリリース・ノートを検索するときは， SYS$HELP:NOTESJA025.RELEASE_NOTES ファイルを表示または印刷するか，次のように入力してください。

```
$ HELP NOTES RELEASE_NOTES
```

日本語 DEC Notes の以前のバージョンでプライベート・セクション・ファイルを使用していた場合には，バージョン 2.5 をインストールした後，バージョン 2.5 と互換性があるように，セクション・ファイルを再構築しなければなりません。

3.9 問題の判断と報告

日本語 DEC Notes の使用中にエラーが発生し，そのエラーが日本語 DEC Notes の問題によって発生したと考えられる場合には，日本 DEC の担当者または，最寄りの日本 DEC 各支店/営業所へお知らせください。

日本語 DEC Notes のマニュアルに誤りがある場合には，その誤りのあるマニュアルの最後に添付されているコメント用紙に記入して提出してください。その場合，誤りがある節の番号とページ番号もお書き願います。

A

インストレーションの例

この付録では，NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE ライセンスがある場合の日本語 DEC Notes のインストレーションの例を示します (第 2 章に示したインストレーションの抜粋は，NOTES-UI-JAPANESE ライセンスの場合のインストレーションであり，これは NOTES-USER-UI-JAPANESE ライセンスの場合のインストレーションに類似しています)。

```
Username: SYSTEM
Password:
   .
   .
   .
$ set default sys$update
$ @vmsinstal notesJA025 $disk:

        OpenVMS AXP Software Product Installation Procedure Vx.x

It is dd-mmm-yyy at hh:mm.

Enter a question mark (?) at any time for help.

* Are you satisfied with the backup of your system disk [YES]?

The following products will be processed:

  NOTESJA V2.5

        Beginning installation of NOTESJA V2.5 at hh:mm

%VMSINSTAL-I-RESTORE, Restoring product save set A ...
%VMSINSTAL-I-RELMOVED, Product's release notes have been moved to SYS$HELP.

  ************************************************************
                DEC Notes/Japanese Installation Procedure
        Copyright (c) Digital Equipment Corporation. 1996.
                      All Rights Reserved.
```

```
                        DEC Notes/Japanese V2.5

    DEC Notes can be installed on any system running
    OpenVMS AXP V6.1 (or later).
    This installation will fail if this system is running an
    older version of OpenVMS.

    DEC Notes/Japanese provides both a character-cell and a DECwindows/Motif
    user interface.  Use of the DECwindows/Motif interface requires
    that DECwindows/Motif V1.2 (or later) be installed.
    This installation can continue and the character-cell interface can
    be used if the required version of DECwindows/Motif is not installed.

    DEC Notes/Japanese supports both DECnet and TCP/IP transports.  Use of
    the TCP/IP transport requires prior installation of
    V3.1 (or later) of DEC TCP/IP Services for OpenVMS.
    Installation can continue and only the DECnet transport will be
    used if the required version of DEC TCP/IP Services for OpenVMS is
    not installed on this system.

    An appropriate software license is required to run DEC Notes/Japanese.
    The license should be installed before attempting to install
    DEC Notes/Japanese.  If you have not yet installed a DEC Notes/Japanese
    license, you can continue with this installation, but you will be unable
    to run either DEC Notes/Japanese or the DEC Notes/Japanese Installation
    Verification Procedure until an appropriate license has been installed.

  ************************************************************

* Do you want to continue with this installation [YES]?

* Do you want to purge files replaced by this installation [YES]?
* Do you want to run the IVP after the installation [YES]?

%NOTESJA-I-CHKPRDVER, Checking installation requirements

    All installation and product dependencies will now be checked.
    If problems are discovered, it may still be possible to complete
    this installation, depending upon the nature of the problems.

%NOTESJA-I-VMSVER, Checking OpenVMS version...
%NOTESJA-I-MOTIFVER, Checking DECwindows/Motif version...
%NOTESJA-I-UCXVER, Checking DEC TCP/IP Services for OpenVMS version...
%NOTESJA-I-SYSRES, Checking system resources...

  Please indicate the level of capability that you want to install:
```

```
        1. Full capability (NOTES-UI-JAPANESE or NOTES-USER-UI-JAPANESE)
        2. TeamLinks DEC Notes/Japanese server (NOTES-SERVER-LANLINK)
        3. Reduced capability, client-only (NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE or
           NOTES-CLIENT-USER)

* Enter the number of the level of capability to install [1]: 3

       Product:      NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE or NOTES-CLIENT-USER
       Producer:     DEC
       Version:      2.5
       Release Date: 20-APR-1996

* Does this product have an authorization key registered and loaded? y

  No further questions will be asked during this installation.
  Completion of the installation should take another 5-10 minutes.

  This installation will add the following files:

       [SYSLIB]NOTES$SHARE.EXE
       [SYSLIB]NOTES$SECTION.TPU$SECTION
       [SYSEXE]NOTES$MAIN.EXE
       JSY$SYSTEM:NOTES$COMMAND.TPU
       [SYSMGR]NOTES$REMOVE.COM
       SYS$SYSROOT:[SYSTEST]NOTES$IVP_CLIENT.COM
       SYS$SYSROOT:[SYSTEST]NOTES$IVP_LOCAL.COM
       [SYSHLP]NOTESJA025.RELEASE_NOTES
       [SYSHLP]NOTES_SHORTGUIDE.MEM
       [SYSHLP]NOTES$HELP.HLB
       [SYSHLP]NOTES$DWHELP.HLB
       [SYSLIB]NOTES$DWSHARE.EXE
       [SYSLIB]NOTES$DWNOTES.UID
       [SYSLIB]NOTES$DEFAULTS.DAT
       [SYS$STARTUP]NOTES$STARTUP.COM
       [DECW$DEFAULTS.SYSTEM]LWK_REG_NOTESNOTE.UID

  ************************************************************
  REMINDERS:

  1. SYSTEM STARTUP
     --------------

  After the installation has completed, you should execute

            SYS$STARTUP:NOTES$STARTUP.COM
```

```
  on each system on which this copy of DEC Notes will be run.

  You should also edit your system startup procedure to run
  SYS$STARTUP:NOTES$STARTUP.COM on each system on which this
  copy of DEC Notes will be run.

  ** IMPORTANT NOTE: Installation instructions for previous
  versions of VAX Notes suggested that NOTES$STARTUP.COM be
  run prior to network startup during the system startup process.
  It is now recommended that NOTES$STARTUP run AFTER network
  startup has COMPLETED, particularly if TCP/IP will be used
  as the network transport for DEC Notes connections.

  2. DEC NOTES SHUTDOWN OR DEINSTALLATION
     ------------------------------------

  A new utility, SYS$MANAGER:NOTES$REMOVE.COM, can be used to
  deinstall DEC Notes/Japanese or to prevent new servers from executing.
  Type:

               $ @SYS$MANAGER:NOTES$REMOVE

  for further details.

%VMSINSTAL-I-MOVEFILES, Files will now be moved to their target directories...
%NOTES-I-SHUT, Disabling Notes server...

   Beginning the DEC Notes/Japanese V2.5 Client-only Installation Verification
   Procedure.
   Copyright (c) Digital Equipment Corporation. 1988, 1996. All Rights Reserved.

    Testing SHOW, HELP, and EXIT.

                              電子会議システム
                    ヘルプが必要な場合には，HELP コマンドを入力してください
                         ノートブック・クラス MAIN のディレクトリ

 エントリ名              未読   最新のノート       トピック  更新ステータス

  SAMPLE_CONFERENCE        1  17-NOV-1858 00:00      0  アクセスしていません
[ リストの終わり ]

DEC Notes V2.5-0J - Copyright (c) Digital Equipment Corporation. 1986, 1996.


Command_Summary

     DEC Notesを初めて使用する場合には，次のようにしてヘルプを使用して
     ください。
```

- o 基本的なコマンドの使用例を表示するためにはNew_Userとタイプします。
- o DEC Notesで使用する用語や概念についての説明を表示するためには，Terms_and_Conceptsとタイプします。
- o DEC Notesのすべてのコマンドのリストを表示するためには，疑問符(?)をタイプします。

基本コマンド:

ADD ENTRY	REPLY (または ANSWER)	CLOSE
DIRECTORY	EXIT	PRINT
NOTES (DCL コマンド)	HELP	WRITE
READ	OPEN	

以下の項目は，より詳しい説明や，より高度なコマンドの使い方の説明です：

Information_Commands	Keyword_Commands	Logical_Names
Moderator_Commands	Notebook_Commands	Subprocess_Commands
Other_Utilities	Reading_Notes	

```
    If the informational output above is similar to the example
    displayed in the DEC Notes/Japanese Installation Guide, then this
    installation is successful.

   The DEC Notes/Japanese V2.5 Client-only Installation Verification Procedure
   completed.

        Installation of NOTESJA V2.5 completed at hh:mm

    Adding history entry in VMI$ROOT:[SYSUPD]VMSINSTAL.HISTORY

    Creating installation data file: VMI$ROOT:[SYSUPD]NOTESJA025.VMI_DATA

        VMSINSTAL procedure done at hh:mm

$ LOGOUT
  SYSTEM       logged out at  dd-mmm-yyyy hh:mm:ss.ss
```

B

日本語 DEC Notes ライセンス情報

この付録では，日本語 DEC Notes ライセンスについて説明します。

B.1 NOTES-CLIENT-USER ライセンス

NOTES-CLIENT-USER ライセンスは並列クライアント専用ライセンスであり，Notes を同時に特定の数だけ起動することができ，クライアントのみの機能が提供されます。詳細については，『日本語 DEC Notes ソフトウェア仕様書』(SPD) を参照してください。

B.2 NOTES-SERVER-LANLINK ライセンス

NOTES-SERVER-LANLINK ライセンスはサーバのみの機能を提供します。このライセンスでは，Notes をコマンド・ラインから起動できません (つまり，クライアント機能はありません)。これは個人用に使用するライセンスであるため，ユーザに対してサーバの使用を許可する前に，そのユーザをライセンス予約リストに追加しなければなりません。予約リストにはユーザ名だけでなく，ノード名も含まれるため，予約リストの形式は他の多くのアプリケーションと異なります。PATHWORKS Conferencing (SPD 38.65.xx) クライアントからの省略時のユーザ名は Conferencing-User ですが，これはユーザが変更できます。

B.2.1 予約リストへのユーザの追加

NOTES-SERVER-LANLINK ライセンスの場合，ユーザを予約リストに追加するには，ノード名を指定しなければなりません。たとえば，MYPC ノードのユーザがユーザ名を Johnson に設定している場合には，認可が XXXX である PAK に対してそのユーザを予約リストに追加するコマンドは次のようになります。

```
$ license modify NOTES-SERVER-LANLINK  -
_$ /authorization=XXXX/reserve=(MYPC::Johnson)/add
```

索引

A

Alpha インストレーション・プロシージャの必要条件 1–4

B

BIL 1–1
BOM 1–1

D

DECnet 3–2

I

IVP
　単独実行 3–6

L

LMF 1–7

P

PAK 1–7
　登録 2–5

T

TCP/IP 3–2

V

VAX インストレーション・プロシージャの必要条件 1–2
VMSINSTAL 2–1
　使用 1–9

ア

アップデート版 3–8

イ

インストール
　VAXcluster での 3–3
　アップグレードの 2–6
　後の手順 3–1
　準備 1–1
　手順 2–1
　初めての 2–7
　例 A–1
インストレーション
　メッセージ 2–14
インストレーション・プロシージャ
　実行 2–1
　失敗 3–7
インストレーション・プロシージャの必要条件
　Alpha 1–4
　VAX 1–2

エ

エラー 3–7

オ

オンライン・リリース・ノート 1–1

ク

クォータ 1–6

コ

コマンド・パラメータ 1–10

シ

システム・スタートアップ・ファイル . . . 3–1

テ

ディスク・スペースの必要条件
- Alpha 1–4
- VAX 1–2

ト

特権 1–6

ニ

日本語 DEC Notes のインストール 2–1
日本語 DEC Notes の起動 3–4

ネ

ネットワーク・トランスポート 3–1

ホ

保守用アップデート版 3–8

ユ

ユーザ・アカウント・クォータ 1–6
ユーザの追加 B–1

ヨ

予約リスト B–1

ラ

ライセンス
- NOTES-CLIENT-UI-JAPANESE . . . 1–8
- NOTES-CLIENT-USER 1–8, B–1
- NOTES-SERVER-LANLINK . . 1–9, B–1
- NOTES-UI-JAPANESE 1–8
- NOTES-USER-UI-JAPANESE 1–8
- 指定 2–3
- 種類 1–8
- 登録 1–7

リ

リリース・ノート 1–1

日本語 DEC Notes　インストレーション・ガイド

1996 年 5 月　発行

日本ディジタル イクイップメント株式会社

〒 167 東京都杉並区上荻 1-2-1

電話　(03)5349-7111 (大代表)

AA–QWSNA–TE